

# 鳥取市鹿野町しかのちょうにおける活動

鳥取県推薦都市農村交流アドバイザー（分野：合意形成）

小林 清

（NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 副理事長・事務局長）

## 1. 取組概要

鳥取市鹿野町は鳥取市西部に位置する人口約 3,600 人の農山村地域。中心部の城下町では「鹿野祭りの似合うまち」をテーマに、行政と住民がまちづくりに取り組んで来た。地域の取組みに呼応し 2001 年 10 月「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」を地元有志により発足、2003 年 2 月には NPO 法人を取得している。

発足時より鳥取市への合併で役場が無くなる危機感から、役場の代わりになれるような存在でありたいと話合っている。そして自分たちの子供や孫が帰ってきたくなる町、住み続けたいと思える魅力的な町にと活動している。

## 2. 具体的な活動

鹿野城下町において「家号瓦」等の景観演出、「虚無僧行脚」「週末だけのまちのみせ」等の賑わいづくり、シンポジウム「まちづくり合宿」、手作り小物の店「ゆめ本陣」・食事処「夢こみち」の運営など地域資源を活かした活動を継続している。

果樹の里山プロジェクトは耕作放棄地に 5 年間で 1,000 本の果樹の苗を植える計画。地域の人々、大阪国際大学生と一緒に取り組み、いちじくジャムなどの商品開発も行っている。

城下町には江戸、明治期の建築が多く存在し、国の有形文化財への申請に取組みこれまで 5 件 8 棟が登録された。歴史的街並みや建築的価値を再認識することに繋がっている。

空き家活用は 31 ヶ所となった。地域の課題が資源化され、景観・環境を守り育てることに繋がっている。移住者の住居に加え、青山学院大学社会情報学研究センター鳥取分室、ゲストハウス「しかの宿 本田中家」、交流滞在施設「しかの宿 殿町」「しかの宿 山根町」も開設した。

移住支援にも取り組んでいる。鳥取市への提言から空き家バンクを民間に委託する仕組みが生まれ、官民協力した取組で最近 5 年間に若者を中心とした約 80 人が移住している。



果樹の里山 大学生と一緒に苗植え



まちづくり合宿 車座トーク



週末だけのまちのみせ



「しかの宿 本田中家」青学来訪

### 3. 地域の変化

移住、空き家活用、店舗開設等の希望者が多く新たな動きも生まれ、空き家が足りない状況が続いている。移住者と地域の若者が連携することも生まれ、鹿野芸術祭など協力して取り組んでいる。

鹿野町への入り込み数にも変化が現れているおり、2000年度17万6千人から2017年31万5千人となった。鹿野町の魅力が少しずつ高まり、町が元気に変わっていると感じる。行政、地域の人々と一緒に取り組んできた成果である。

### 4. 活動で心がけていること

- 地域を活かす 人・文化・自然・産業・
- 地域の人々、移住者が主役・活躍できる地域
- 好きなことが言える環境で活発な意見
- 地域に必要とされ、私達だから出来る活動
- 多様性、取り組みの違いを認め合う
- 継続すること、仕組みを作ること
- 出来ないことは委ねる、連携する

### 5. アドバイザー自身の紹介

非営利活動法人 いんしゅう鹿野まちづくり協議会 副理事長・事務局長

協議会設立より参画。地域の人・資源を活かし、地域の魅力づくりを行っています。地域の人々、移住者が主役となり活躍出来る環境づくり、大学生やアーティストなど地域外の人々との繋がりも大切に活動しています。

鹿野町の活動をお伝えし、地域の魅力づくり・資源活用を一緒に考えたいと思います。